

精神疾患患者らの復帰地域で支援

帯広に「リカバリー拠点」

精神疾患患者や精神障害を持つ人が地域で暮らしながら治療やリハビリテーションに取り組み拠点施設「おおえメンタルクリニックゆう」が帯広市西5南12にオープンした。外来診察、リハビリと社会参加支援の通所デイケア、包括的地域生活支援の3部門で利用者を援助していく。

大江病院などを経営する医療法人社団博仁会が今月1日、開設した。同クリニックの1階は待合室と診療室など外来診察。2階のデイケア部門では通所利用者が、当事者同士のミーティング、生活技能訓練として調理実習、就労支援のパソコン実習など状況に応じた多様なリハビリに取り組みます。

また、在宅の重度精神障害者を対象に往診や訪問サービスなどの包括的地域生活支援プログラム(ACT)を担当する「ACT十勝」の事務室がある。

大江病院の既存のデイケア部門の一部を移転し、中心市街地で病院内とは違ったより日常に近い環境での

リハビリを目指す。スタッフは医師2人と看護師、精神保健福祉士、作業療法士など合計14人。利用定員は、デイケアとACT十勝が各50人を想定している。

従来、日本の神経精神科では入院治療の延長として病院内でのリハビリが中心だったが、欧米では患者や当事者が症状や環境に応じて治療やリハビリ、社会参加に取り組みながら地域で暮らす「リカバリー」とい

う考え方が主流になっている。同クリニックは十勝管内初の病院外のリカバリー拠点施設。

鎌田裕樹院長は「社会に関わり、生活することが、症状の改善や生活の質の向上につながる。他の医療機関などと連携して支援のネットワークを充実させてゆきたい」としている。

外来診療は月々金、午前と午後。事前予約が必要。デイケアは他の医療機関の



帯広市西5南12の中心市街地にオープンした「おおえメンタルクリニックゆう」

患者も利用できる。問い合わせは同クリニック ☎01

55・20・3800へ。(山本孝人)